



北本市立宮内中学校 学校教育目標 自立貢献

宮内中だより

No.2 令和3年5月6日

重点目標

「継承と創造」

「安心・安全」

「信頼」



＜自立貢献＞ 学：学び続ける 恕：思いやる 錬：鍛える

校長 西山 宏

新緑が心地よく、学習や運動を行うにはとても良い季節になりました。季節は春から夏へと少しずつ進んでいます。過日行われた「学級懇談会」「PTA役員決め」には大変お忙しい中、出席していただきありがとうございました。去年は実施できなかった「4月からのスタート」となったことにホットしております。令和3年度もどうぞよろしくお願いいたします。

着任して1か月も経っていませんが、とても嬉しく思う場面がありましたので以下に記載します。



○朝出勤するときに次のような生徒がいることに気づきました。家が道路の左側にあるのでしょうか。その生徒は、近くの交差点までは左側を歩いていました。そして交差点で道路の右側に渡り、次の信号で道路を渡り右側を歩いていきました。「二段階直進」とでもいうのでしょうか。女子の生徒でしたが、残念ながらまだ名前がわかりませんでした。また、手押し信号のある横断歩道を、車が少ない状況でしたが青信号まで待って渡っている男子生徒がいました。ユニフォームを着ていたので「野球部」だとわかりました。春休み中の部活動に参加していた男子生徒です。

○本校では「黙々清掃」に取り組んでいます。これは「無言」が目的なのではなく、集中して担当場所を綺麗にすることを目的としています。ある日の清掃の時間、職員室を見るとメラニンスポンジ「激落ち君」を持った生徒が膝をつき、黙々と汚れを落としていました。つい「きれいになったね、ありがとう。」と言ってしまったのです。生徒は黙々とやっているのに、校長が声をかけてしまい「失敗したな。黙っていればよかった」と思いました。すると女子生徒が「必要なことはいいんですよ」と教えてくれました。生徒に教えてもらう。こんな嬉しいことはありません。

○授業が始まりました。先生方は春休み中から配布するプリント・資料の作成を行い、スムーズに授業が始められるように準備をしていました。教室訪問（校長等が生徒の活動を見に授業中に教室へ行くこと）をしていると、先生の熱い指導（優しさやユーモアもある）と生徒の真剣な表情がとてもマッチしています。今でも時間を作って授業・集会・行事・生活等の準備をしてくれています。生徒が「わかった。できた。伸びた。関わった。」と感じる（思える）ようにと。



交通ルールを守る。清掃を一生懸命に行う。授業の準備をする。これらのことは当たり前なのかもしれません。でも、誰かに見られているからやるのではなく、誰かに言われたからやるのでもない。自分がやるべき事を一生懸命に行う。自分で考え・行動している。これはまさに学校教育目標「自立貢献」の実現だと思います。生徒も教師も、そして家庭も地域も皆が一体となって、様々な場面で「自立貢献」となるようにしたいものです。